

(1)概要

日時	令和6年7月4日(木)13:30~15:30	
場所	大阪府立寝屋川支援学校(視聴覚室) ※集合開催	
出席者	会長	山中 矢展(学校法人西大和学園 大和大学)
	副会長	冨永 光昭(国立大学法人 大阪教育大学)
	委員	森本 朋美(寝屋川市立北小学校)
	委員	藤本 財久(寝屋川市立あかつき・ひばり園)
	委員	川橋 健太郎(グローバルコミュニティ株式会社)
	委員	白石 倫子(寝屋川支援学校 PTA 代表)
	校長	阪本 友輝
	准校長	荒木 聖
	事務局	
	事務長	清水 紀行
	教頭	日置 節子
	教頭	東川 彩 (事務局長)
	統括首席	坂田 真一
	首席	亀村 尚希
	首席	安慶田 渉
	首席	西橋 聖次
	小学部主事	伊佐敷 香奈
中学部主事	槇野 健太	
高等部主事	西村 真也	
進路指導主事	坂元 久美子	

(2)議事録

内容
① 定足数確認【東川教頭】
② 出席者紹介
③ 会長・副会長選出
④ 校長挨拶【阪本校長】
⑤ 報告事項 ア)50周年周年行事について【西橋首席】 イ)令和6年度採択教科書について【安慶田首席】
⑥ 協議及び提言【会長】 ア)学校経営計画及び学校評価に関する事項
⑦ 准校長挨拶【荒木准校長】
⑧ 事務連絡【東川教頭】

議事録

東川教頭	<p>① 定足数確認 欠席 富永委員、川橋委員、西村高等部主事 途中参加 日置教頭、榎野中学部主事</p> <p>② 出席者紹介 記録の正確性を高めるため、機器による録音を行いたい→了承</p> <p>③ 会長・副会長選出(互選) 事務局より、山中委員に会長、富永委員に副会長を推薦→承認 質疑応答から山中委員に司会進行をお願いしたい。 第二回の日程が変更になり申し訳ございません。</p>
阪本校長	<p>④ 校長挨拶 ご出席ありがとうございます。 一学期も残すところ2週間。学校経営計画に基づいて教育活動を行っている。 本校の取り組みに関して、忌憚のない意見をお願いします。 本日、学校側の参加者は、50周年Tシャツを着用している。 11月1日には式典もあるので、都合が合えば出席をお願いしたい。 第二回の日程変更は教頭よりメールしているとおりのり。</p>
西橋首席	<p>⑤ 報告事項 ア)50周年周年行事について (50周年記念テーマソングの試聴)</p> <p>記念事業①ダンスプロジェクト 歌詞は児童生徒から公募したものを集めて、教員が作曲した。 歌詞と作曲した譜面を業者に渡し、完成。この曲でダンスに取り組んでいく。 現在、朝のバス到着時と、昼休み及び下校時に音楽を流している。 本校は、大阪で8番目の養護学校として設立された。今年50周年。 テーマは、「記憶にも、記録にも残る50周年記念」。 記念式典は、11月1日午前10時から体育館で行う。 体育館に全員入れないため、小中は最高学年のみ体育館へ、高等部は全学年が体育館へ、その他の学年はクラスで動画を視聴する。 50周年記念ソングの歌詞は、校長室の前に貼っている。 当日は児童生徒が前に出て踊ったり、踊っている様子の動画を見てもらったりする予定。 Tシャツのデザインは、デザイナーとして活躍されている高等部45期の卒業生に作成してもらったイラストと、児童生徒からの公募イラスト・40周年の時のイラストを組み合わせたものを使って作成している。 校外学習でTシャツを活用している学年もある。</p>

記念事業②学校キレイ大作戦

学校を綺麗に。小中高の縦の繋がりも大切に。

中学部、高等部で寝屋川公園の花植えも行った。

高等部の生徒が小学部の児童に、机の拭き方を優しく教えている姿も見られた小学部の児童も、お兄さんお姉さんに教えてもらって嬉しそうだった。

記念事業③オープンスクール

10月29日、31日の10時から14時に実施。

他校の教員や保護者だけでなく、どなたでも来てもよいという取り組み。

支援教育に関わる教員の専門性の向上、地域や保護者への学校への理解を深めてもらえたらと思っている。

記念品、記念誌の紹介

記念品は、クリアファイル、トートバック、ハンカチ。

公募のイラストと卒業生のイラストを使用。

トートバックは400個寄贈(デザイナーの卒業生の企業より)。

デザイナーの45期卒業生は、現在企業に勤めていてイラストを描いている。

同窓生の副会長も行っている方で、記念式典にも参加する予定。

こういう先輩がいるということで、児童生徒の目標になれば良いと思っている。

記念誌は、紙では配付せずデジタルパンフレット。はがきサイズの紙にQRコードを張り付けて見られるようにする計画。

横断幕

学校に掲げる。児童生徒が50周年を意識しやすいようにすると同時に、50周年だけでなく、これからも使えるように。

学校経営計画の目標にある「一人一人の花を咲かせよう。そしてともに輝こう」という言葉も入れている。

50周年の事業をもとに、寝屋川支援学校に良い伝統を残していきたい。

ダンスソングで学校を明るく楽しく盛り上げる。学校キレイ大作戦をもとに、学校をきれいにする習慣が児童生徒や教職員につくこと。オープンスクールをもとに、いつでも誰にでも見てもらえる授業を提供することなど、「凡事徹底」のことばのように、当たり前に取り組んでいけたら良いのではないかと考えている。

安慶田首席

イ)令和6年度採択教科書について

教科書選定の際は(ア)検定教科書(イ)特別支援学校用文科省著作教科書(ウ)附則第9条選定本(エ)府立支援学校高等部用許可書、の中から、資料をもとに、児童生徒の実態や習熟度に応じて選定している。

小中学部は、基本的には(イ)と(ウ)を教科書として選定している。

	<p>高等部は 実態や習熟度に応じて(ア)から(エ)の中で実態や習熟度に応じて選んでいる。</p> <p>昨年度の選定は、教科書担当者が行っていた。 今年度は、令和7年度に向けて、12年間の系統性を意識した教科書を選定していくことをカリマネ担当者で話し合い、☆本の活用をしていくため、5月に全校教科会を実施した。取りまとめたものを来年度の教科書として選定、現在提出書類を作成しているところ。 他校の教科書もインターネットで検索、比較できるので、参考にしながらすすめていきたい。</p>
山中会長	<p>⑥ 協議及び提言 報告ありがとうございます。 テーマソングがうきうきするように感じる。 ホームページをクリックすると音楽が流れ、自然と身体が動いた。 50周年を盛り上げることが感慨深い。 まずは、50周年に関する質疑応答を行う。</p>
森本校長	<p>北小も150周年を迎えた。準備が大変なのが拝察される。 子どもたちの取り組みはキャリア発達の視点で素敵だと感じる。 先生も楽しんでいる様子も分かり、同僚性やチームで取り組んでいく等、次につながる。ダンスを基軸として系統性をもって教員が話をする機会も増え、良いものだと思う。</p>
藤本委員	<p>園は1973年5月に設立。2年前に50周年を迎えた。 寝屋川支援学校の50周年の取り組みを聞いて、エネルギーや工夫がすごいと感じた。</p>
白石会長	<p>先ほど、片付けしながら50周年ソングを口ずさんでいた。 耳に残る曲だと思っている。 先日、児童生徒が校内を掃除している場面を見かけた。ほのぼのと取り組んでいる姿を見て、みんなで50周年を盛り上げているのを近くで見て感じた。記念行事も楽しみ。</p>
山中会長	<p>20周年のときに小学部教員、40周年目の時に校長として本校にいた。 その頃から、一貫して手作り感があると感じている。 保護者、児童生徒、先生、みんなで作り上げている。 卒業生も作品をつくっている。横断幕などもすごい。 記念品も手作り感がある。 記念式典はデジタル化で工夫されるのか。</p>

西橋首席	<p>手本のダンスをクラスルームに挙げてみんなで練習している。パーティのような式典になれば良いと思っている。</p> <p>日ごろの掃除にも生かせるよう、掃除道具も揃えている。また、「みんなで一つのものを作ろう」ということで、スクールバスが描かれた布に、みんなの手形をつけようと計画している。式典の際には体育館に貼って、みんなで盛り上げていきたい。</p>
山中会長	<p>完成が楽しみ。</p> <p>教科書に関しても児童生徒の実態に応じて選定されていると思う。意見や質問があればお願いします。</p>
森本委員	<p>昨年度小学校、今年度中学校の教科書の採択があった。大変だなと感じる。☆本があるというのを初めて知った。どういう形のものなのか。自校でも活用してみたい。</p>
安慶田首席	<p>☆本は知的の支援学校用のものなど、障害種によって文科省で作成されている。</p> <p>☆1から☆4まであり、内容も違っている。すべての教科が網羅されているわけではない。すべての教科の☆本があれば、それを参考に授業を組み立てていけるが、まだ追い付いていない状況。</p> <p>一般校で☆本がとれるかは分からないが、☆本があるということを知っていただけると、活用していつてもらえるのではないかな。</p>
東川教頭	<p>補足説明。支援学校用の指導要領に応じたものを文科省が著作している。国語、算数・数学、音楽、生活に範囲が広がってきている。</p> <p>教育委員会が採択し、何年間かその教科書を使用するという地域の学校と違い、支援学校は児童生徒の実態に応じて毎年教科書を選定し、すすめている。</p>
山中会長	<p>系統性を重んじていくということで、5月に全校教科会を開かれた。</p> <p>12年間の一貫教育をいかにすすめていくかということを考えていけるのは、支援学校の強みでもある。</p> <p>子どもの実態に応じて支援内容や教材教具を工夫されると思うが、教科書でさらに系統性がある授業づくりをすすめていつてもらえたら。</p> <p>45年前に養護学校の義務制が始まったが、その5年前に創立されている。当時は高等部が多かったが、現在寝屋川支援学校の特徴としては小学部が全校の半分を占めている。枚方支援学校ができて少し減ったが、また増えていると聞いている。課題もあると思うが、それだけ選ばれる学校ということでもある。</p>

<p>阪本校長</p>	<p>未来の子どもたちに向けて、すすめていくための節目の年になる。</p> <p>ア)学校経営計画及び学校評価に関する事項</p> <p>第2次大阪府教委振興基本計画を元に学校経営計画を設定している。本校の計画は教員からの意見を校長・准校長に挙げる形式である。その際に、分かりやすくするため担当部署を明示したり、キャッチフレーズであげたりするなどの工夫を行っている。4年目の今年度は、キャッチフレーズもよくなっている。校長室前の掲示板に拡大版として掲示している。</p> <p>小中学部学校経営計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「コミュニケーションでみんな繋がろう」 PECS の取り組みを行っている。研修を受けた教員が周囲に促していこうと思う。 ・「学ばせ方改革!授業力パワーアップ」 小学部の授業で児童が待つ時間があることへの対応などを考えていくことをねらいとしている。 ・「ディスカバー&ビルド!自分だけのキャリア!」 大阪府教育基本計画に基づいて、中学部でのキャリア教育を進めていっている。 ・「みんなで作るカリキュラムマネジメント」 研修を継続して行って知識を深めている。 ・「一人ひとりの可能性を輝かせるポジティブな学校!」 昨年度から継続して取り組んでいる内容で、今年度も講師の先生をお招きして研修を行う予定。 ・「ペーパーレス化で神(紙)ですか 24!」 府からのペーパーレス化の指示を受けすすめている。保護者へのプリント配付も配信という形で実施している。保護者からのアンケート等の返事も google フォームで行っている。 ・「分掌長さんそれやりますよ」 分掌長が学年業務の軽減を図るなどの配慮をする。 ・「こうあるべきだ!はやめましょう!柔軟に問題解決!」「これ、何のためにやってるの?例年通りはやめましょう!」 学校という組織は保守的な傾向にある。今年から就任した教育長も「現状維持は衰退の始まり」と仰っており、見直してより良いものを作っていけるようにしたい。 ・「分掌から飛び出すPT!」 分掌とPTを並列に考え、業務の平準化を図る。あまり事例としてないので、しっかり年度末にフィードバックしながら進めていきたい。 ・「社会へ羽ばたく力を育もう!」 高等学校で障がいのある生徒が増えてきている。その中で本校のセンター的機能を果たしていきたい。
<p>荒木准校長</p>	<p>高等部学校経営計画 (中期目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1(2)と2(1)が高等部独自のものである。 ・「小さなスキルアップの積み重ね~卒業後を見据えて、ひとまわり成長していく自分~」 バザールウィークが2年目となっている。進路実現に向けて実践的な教育に進めている。

	<p>・「HOPSTEPJOB!」 職場体験実習や体験実習を 1、2 年で行い、外部講師を招いた授業を行っている。</p> <p>・「つながる進路～学部間・関係機関連携～」 小中学部の児童生徒と交流授業を行ったり、保護者向けに事業所のパンフレットなどを配付したりして、連携を図っている。</p> <p>2(1)</p> <p>・「輝く未来はキャリアプロから」 保護者にキャリア教育プログラムを提示している。また、コース制でそれに応じたグルーピングの授業も行なっている。</p> <p><質疑応答></p> <p>【小中学部】</p>
山中会長	学校経営計画は教員が読むのがしんどいという印象だった。意見を集めてキャッチフレーズを募集するのは、面白いと感じている。
白石委員	中学部の職場体験は今後社会情勢も変わっていて選択肢も広がる中、どうなりたいかなどを考える機会を持ってないのかなと思う。一方で、職場体験実習は行っているのか？また、卒業生や実際のさまざまな仕事の話聞く機会を持ちたい。ペーパーレス化について、アプリの普及率を知りたい。
阪本校長	アプリについては、普及率は知る術がない。PTA 総会の時に質問したが、約半数の保護者が登録している。e メッセージ自身は、ほぼ 100%だと思う。職場体験については、オンラインでトヨタの職業や外部講師を招いて授業している。
槇野部主事	中学部では、昨年度の学校運営協議会でいただいた意見を元にグローバルコミュニティ様を招いて、校内実習体験を行なった。今年度についても、それを拡充していくかを含めて検討している。高等部や進路部と連携して行なっており、中学部では、挨拶・身だしなみ・接客態度を重視し、高等部に繋げていきたいと考えている。
藤本委員	園でも働き方改革の観点から会議の持ち方や諸書類の書き方等を見直ししているが、成果につながるまで引き続き取り組む必要があると考えている。園での取組の参加にもさせて頂いているので、学校経営計画を元に今後も進めていってほしい。
森本委員	自校においても ICT1 人 1 台端末については、児童生徒が活用するための管理の問題がある。また、オンラインについては保護者の方々からの期待が高まる一方でそのすべてに応えられてない現状がある。アンケートのペーパーレス化については、保護者からの回答を一定数求めなければその有効性が高まらないので回答率を高めることが課題となる。。働き方改革では、本校でも取り組んでいるが、教員のよりよいものを求めたい気持ちが先行し道半ばである。個々の意識改革が重要になってくると思う。最近の傾向として地元の支援学級を選ぶ児童が年々増えている児童の課題も多様になってきているので教職員の専門性も求められている。支援学校の地域支援において、さらに相談ができる機会が増えるということなので、ありがたいと感じている。
山中会長	学校アンケートの回答について昨年度 Google フォーム行い回答率が下がっ

<p>阪本校長</p>	<p>ていたということだった。また、学校とPTAの方が協賛するなどで伝えていくことをして欲しいと思う。また、PECSとカリマネの部分をどのように進めていくかを教えてほしい。</p> <p>PECSのワークショップの受講者は3名の予定。進めていく中で難しさもあるので、個別に応じてやり方を考えていきたい。PECS自体は、職員室間廊下にカードを配置し、教員がどのカードを使うのがよいか考えたり、実際にブックと絵カードで伝えている児童生徒もいるので、少しずつ浸透している印象。高等部についても小学部や中学部の時から使っている生徒もいて、実践は進んでいる。カリマネについては、昨年度の研修等で少しずつ浸透している現状である。また、カリマネ通信で発信をしたり、研修で実践的に学んだりすることで理解も深まっている。研修後に歩きながら児童生徒のことを話す場面も見えて、さまざまな話をする機会を持つことができたと感じている。</p>
<p>山中会長 荒木准校長</p>	<p>【高等部】 キャリア教育プログラムと個別の指導計画とのつながりは？</p> <p>個別の指導計画の目標には、記載されていないが、職業の授業や総合的な探究の授業の指導について反映させている。</p>
<p>西橋首席</p>	<p>(補足として)指導計画の自立活動の目標の中にキャリア教育プログラムを反映させており、保護者の方と確認して進めている。</p>
<p>白石委員</p>	<p>バザールウィークでのアイデア商品がすごく素敵だと感じた。外部でそのような販売をする機会があればもっといいなと思った。PTAバザーでもすごく頑張っているの、日頃の授業でしっかり行われていると感じている。</p>
<p>荒木准校長</p>	<p>⑦ 准校長挨拶</p> <p>50周年を迎え、委員の皆様と祝えることの喜びと共に今後の発展に臨みたいと思う。地域や関係機関と連携を行いながら、より良くなるように進めていきたいと考えている。今後ともよろしくお願ひしたい。</p>
<p>東川教頭</p>	<p>⑧ 事務連絡</p> <p>富永委員は、連絡の行き違いにより本日、欠席。 次回、11月14日(木)に実施予定。</p>